

韓国大学生訪日団 招へい事業の記録

1. プログラム概要

【目的・概要】「対日理解促進交流プログラム（JENESYS2024）」の一環として、韓国全土から選抜された大学生等を招へいし、テーマに沿った各種視察、学校訪問、交流等を通じて、日本に対する理解を深めることで、今後の日韓間の相互理解と信頼関係増進の基盤強化に寄与することを目的とする。

【参加者】韓国の大学生等（団長1名、引率1名を含む） 合計30名

【訪問地】訪日 東京都、沖縄県 合計30名

【日程】

■ プレプログラム（オンライン・オフライン事前学習）：

- 9月7日（土曜日） 大学生訪韓団との交流（オンライン）、参加者による対外発信
- 9月21日（土曜日） 大学生訪韓団との交流、参加者による対外発信
- 10月26日（土曜日） オリエンテーション（プログラム説明）、大学生訪韓団との交流（オンライン）、参加者による対外発信

■ 招へいプログラム：

- 11月6日（水曜日） 成田国際空港から入国、オリエンテーション
- 11月7日（木曜日） 【講義】「最近の日韓関係」
【視察】駐日韓国大使館韓国文化院、【視察】迎賓館赤坂離宮
- 11月8日（金曜日） 【学校訪問・交流】法政大学
- 11月9日（土曜日） 【視察】李秀賢氏追悼・顕彰碑含む新大久保フィールドワーク
【交流】大学生訪韓団団員とのグループ別プロジェクト準備及び発表、
成果報告会
- 11月10日（日曜日） 【視察】浜離宮恩賜公園、沖縄県へ移動、【講義】読谷村の概要、
【交流】ホームステイ対面式
- 11月11日（月曜日） 終日ホームステイ、【視察】座喜味城跡ユンタンザミュージアム
- 11月12日（火曜日） ホームステイ解散式、【視察】ひめゆりの塔・ひめゆり平和祈念資料館、
【視察】沖縄平和祈念公園・沖縄平和祈念資料館
- 11月13日（水曜日） 【視察】首里城、【交流・体験】沖縄国際大学 エイサー体験、【表敬】沖縄県庁、
【表敬】外務省沖縄事務所、成果報告会（訪日成果・帰国後の活動計画発表）
- 11月14日（木曜日） 那覇国際空港から出国

2. 記録写真



2024年11月7日【講義】「最近の日韓関係」



2024年11月7日【学校訪問・交流】法政大学



2024年11月9日【交流】大学生訪韓団団員とのグループ別プロジェクト成果報告会



2024年11月11日【交流】読谷村ホームステイ解散式



2024年11月12日【視察】ひめゆりの塔・ひめゆり平和祈念資料館



2024年11月12日【視察】沖縄平和祈念公園・沖縄平和記念資料館



2024年11月13日【交流・体験】
沖縄国際大学 エイサー体験



2024年11月13日【表敬】
沖縄県庁

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 韓国 大学生

オンラインを含め4回の交流を通して大学生訪韓団に参加したメンバーとより親しくなり、お互いの文化を理解することができました。特に共通のテーマの討論と発表が両国への理解を深めるとともに、個々への理解も深めることができました。また、大学訪問では、討論以外にも学生と交流できる時間があり、韓国が好きな学生、日本が好きな学生と一緒に集まって話をする機会があり、とても良い経験になりました。

◆ 韓国 大学生

ホームステイ先で沖縄の文化をたくさん体験することができたのが良かったです（郷土料理、工芸体験など）。また、沖縄国際大学ではエイサーサークルによるエイサー公演の観覧と体験が印象的でした。そして、ひめゆりの塔や沖縄平和祈念公園では学徒隊の証言動画や担当者の方を通して、戦争の悲惨さをありのままに説明し、伝えている姿が記憶に残りました。

◆ 韓国 大学生

普段はなかなか行けない外務省を訪問して講義を聞き、外交官の方々と昼食を共にして話せたことが一番印象的でした。ホームステイや大学訪問など、日本人と直接交流できる経験は、その国をより深く総体的に理解することができ、とても有意義でした。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 法政大学関係者

訪日団の皆様と本学学生が「少子化」という両国が抱える社会課題について、国や言語を超えてアイデアを出し討議する貴重な機会となりました。学生同士ではあまり話すことの無いテーマだったかもしれませんが、両国の学生がお互いの国の若者が置かれた状況を話し合うことにより、より深い部分で学生同士の交流や理解が促進され、それが将来の日韓友好の発展に繋がるのではないかと感じました。

◆ 学校訪問先の学生

韓国の方と話す機会があっても、少子化という深刻な問題に関してそれほど深く話す機会はなかったので、非常に貴重な時間だったと思います。ディスカッションの時は皆真剣に取り組んでいましたが、その後はプライベートな話をしながら楽しく和気あいあいとした時間を過ごすことができました。今回の交流を通じてまた素敵な出会いに恵まれたことが良かったと感じています。

◆ 学校訪問先の学生

韓国語が不安だったのですが、同じ班の方々がとても日本語が上手で、日本語と韓国語を混ぜながらスムーズに会話することができたことが印象に残っています。また、今回のテーマが少子化であったことから、ライフスタイルの違いを知ることができたのは良い経験でした。韓国人の友達を作りたいという気持ちも持って参加していたので、たくさん会話することができて嬉しかったですし、学びにもなりました。

◆ホームステイ受け入れ家庭

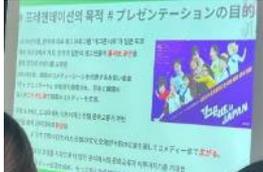
沖縄の紅型衣装を着て、庭でたくさん写真を撮って喜んでいました。各々の国の文化などについて話をしました。これまで何度か外国の方を受け入れてきましたが、今回が一番お互いに質問を交わし、ニュースで見る隣国の世情がより理解できたような気がしました。これからも若い青年たちが民間交流を通じてお互いの理解を深めていってほしいと思います。

◆ホームステイ受け入れ家庭

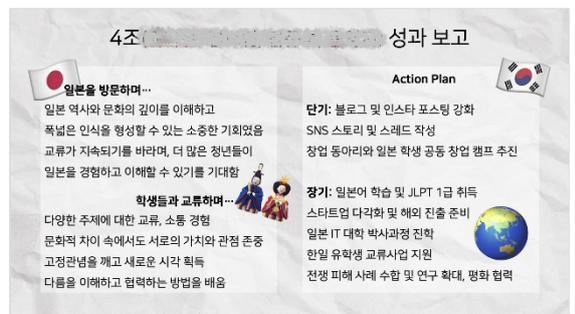
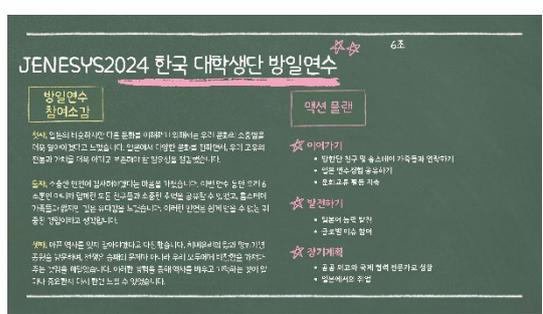
畑で豆を収穫し、食材に利用した料理体験や、海の散策、アクセサリ作りを楽しんでいました。済州島と沖縄の文化が類似していることや、日本語をアニメやドラマで習得し、ほぼ日本語でのコミュニケーションに困らなかったことには驚きました。終始明るく礼儀正しく、日本文化、沖縄文化に興味を示し、自国との違いや類似点についてしっかりとした意見を持っていることに感心しました。

5. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等

| | |
|---|--|
|  <p>2024年11月7日 (Instagram)</p> |  <p>2024年11月8日 (Instagram)</p> |
| <p>今日は外務省を表敬しました。日韓関係に関する外務省の視点を知ることができ、とても有意義な時間でした。昼食会では、おいしい料理を外務省の外交担当者と話しながら食べることができ、とても楽しかったです。また迎賓館赤坂離宮は日本の情緒をたっぷり感じることができる場所でした。文化や食べ物が合うので日本に留学したくなりました。</p> | <p>今日は法政大学を訪問しました。法政大学の学生に会い、両国の少子化問題について話し合いながら問題の原因を明らかにし、解決策を考える有意義な時間を過ごしました。思った以上に斬新な意見が多く出たので、有意義でした。討論の結果の発表の後は、学生食堂を体験したり、キャンパスツアーをしたりしました。学生たちと楽しい時間を過ごすことができ嬉しかったです。</p> |

| | |
|--|--|
|  <p>[KF방일단 4일차] • 한일 간 지속적인 교류를 위한 방안에 대한 발표 방한단 친구들과 한국에서의 만남 이후 지속적으로 연락을 주고받으며 지속적인 교류를 위한 방안에 대한 논의를 진행하였습니다.</p> <p>한일 간 취업 연계와 스타트업에 대한 분석 및 전략 분석을 바탕으로 한국어와 일본어로 약 10분간 발표하였습니다. 정부나 지자체의 정책과 같은 공공 부문뿐만 아니라, 민간 부문에서도 한일 관계 증진을 위해 노력하는 현재의 양상을 보며 미래 세대로서도 큰 책임감을 느꼈습니다. 한국과 일본간의 관계가 보다 미래를 향해 나아갈 수 있기를 바라면서 발표를 마쳤습니다!</p> |  |
| <p>2024年11月9日 (Instagram)</p> <p>訪韓団のメンバーと韓国で交流してから、持続的に連絡を取り合い、日韓の持続的な交流のための方法について議論しました。日韓間での就職の連携とスタートアップについて、分析と戦略を基に日本語と韓国語で約10分間発表しました。政府や自治体だけでなく民間も日韓関係増進のために努力していることが現在の状況の中に見受けられ、未来世代として強い責任を感じました。</p> | <p>2024年11月12日 (Instagram)</p> <p>ひめゆりの塔と沖縄平和祈念公園を訪れて、胸がとても痛かったです。戦争と平和、さらに国家と個人の関係の本質について悩みが深まりました。戦争には勝者はおらず、あるのは敵軍と味方、敗者と被害者のみです。沖縄市民の歴史認識の研究や被害事例の収集に興味が湧きました。戦争で傷ついたすべての人たちへ思いをさせて一日を終えました。</p> |

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表 (概要または抜粋を記載する)

| | |
|--|--|
|  |  |
| <p>【成果の発表】</p> <p>日本を訪問して</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の歴史と文化を深く理解し、幅広い認識を形成することができた。 <p>学生との交流を通して</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々なテーマの交流、コミュニケーションを経験した。文化的な違いがある中でもお互いの価値観や視点を尊重した。固定観念を打ち破り、新たな視点を身につけた。違いを理解し、協力する方法を学んだ。 | <p>【成果の発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> グループだけでなく参加者の皆で大切な経験を共有できた。 ホームステイ家族とは短い時間だったが、深いつながりを感じた。このような縁に感謝し、大切にしていきたい。 悲しい歴史を忘れてはいけないと思った。ひめゆりの塔や沖縄平和祈念公園を訪問し、戦争は勝ち負けの問題ではなく、私たち全員に悲惨さをもたらすものであることに気づいた。このような経 |

| | |
|---|---|
| <p>【アクション・プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ブログやインスタの発信を強化 ・ SNS のストーリーやスレッドの作成 ・ 起業サークルや日本人学生と共同の起業キャンプを推進 ・ 日本語学習及び、JLPT 1 級の取得 ・ スタートアップの多角化及び、海外進出の準備 ・ 日本の IT 大学博士課程へ進学 ・ 日韓留学生交流事業へ応募 ・ 戦争被害事例の収集と研究、平和への協力 | <p>験を通して、歴史を学び、記憶することがいかに重要であるかを改めて感じる事ができた。</p> <p>【アクション・プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 訪韓団の友人やホームステイ家族と連絡を継続 ・ 今回の経験を共有 ・ 文化交流の活動を継続 ・ 日本語能力の向上 ・ グローバルイシューに参加 ・ 外交と国際協力の専門家として成長 ・ 日本での就職 |
|---|---|

実施団体名：公益財団法人日韓文化交流基金